



公立千歳科学技術大学

新型コロナウイルス感染症 対応マニュアル

注意：北海道・石狩地方・千歳市など，地域の感染レベル変更により，随時更新します

参考：厚生労働省，北海道，千歳市，札幌市など

新型コロナウイルス感染症とは

1. 発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさけんたいかん（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴です
2. 感染しても軽症であったり、治る例も多くみられます
3. 季節性インフルエンザと比べ、重症化するリスクが高いと考えられます。重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されています
 - ご高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性が考えられます
4. 新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染により感染します
5. 空気感染は起きていないと考えられています
6. 閉鎖した空間・近距離での多人数の会話等には注意が必要です
7. 発症時から感染性が高く、市中感染の原因となっています

飛沫感染	接触感染
感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。	感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

感染リスクを減らすための行動とは

1. 不要不急の外出は自粛すること
2. 講義は、自宅にwifi環境が無いなど止むを得ない場合を除き、原則自宅で視聴すること
3. 自宅で受講する際にも、複数人で集まって講義を受けるのではなく、1人で受講すること
4. 自宅では、時々窓を開けるなど、換気に注意すること
5. スポーツジム、カラオケボックス、ゲームセンター、多人数での会食、各種イベントへの参加など、人が密集する場所や閉鎖空間への出入りは、できるだけ避けること
6. 互いに手を伸ばしたらすぐ届く距離での会話や発声は避けること
- **ソーシャルディスタンス** (2m程度 (最低1m)) を確保する
7. 感染拡大地域への海外渡航は、避けること



自宅および大学登校前において

1. 各自で体調管理に留意し、毎日の**体温測定や風邪の症状・インフルエンザの症状**（発熱，喉の違和感・痛み，咳，頭痛，全身倦怠感，関節痛・筋痛，吐気・嘔吐，下痢などの症状）のチェックを心づけてください
2. 風邪・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の初期にこれを鑑別することは不可能です。軽症では自宅療養をされて下さい。症状が重い場合には、最寄りの**保健所**（北海道千歳市保健所：0123-23-3175，札幌市保健所：011-211-2111）に問い合わせの上，医療機関の受診をお願いします。なお健康状態に不安がある場合は，**学生支援課・健康相談係**（Tel: **0123-27-6013**, Email: gakusei@photon.chitose.ac.jp），**指導教員**あるいは**クラスアドバイザー**に連絡相談して下さい。また、風邪やインフルエンザなどの症状がある場合，無理して登校するなどの行動は控えてください。授業を**欠席した場合**，登校が可能となった後に**学生支援課・教務係**（Tel: **0123-27-6065**, Email: kyoumu@photon.chitose.ac.jp）にて欠席届を記入の上，**科目担当者**へ提出してください
3. 欠席した場合，必ずしも医療機関受診の証明は必要ありません。
4. 同居の家族に風邪の症状がある場合には，必ず自宅で休養することを徹底してください

発熱等の風邪の症状が見られるときは，学校を休んでください

体調不良や風邪症状が見られたら，毎日，**体温を測定**して記録してください

風邪の症状や高熱が数日続くときは，すぐに連絡する（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）

強いだるさ（倦怠感）や**息苦しさ**（呼吸困難）があるときは，すぐに連絡する

登校時の行動について

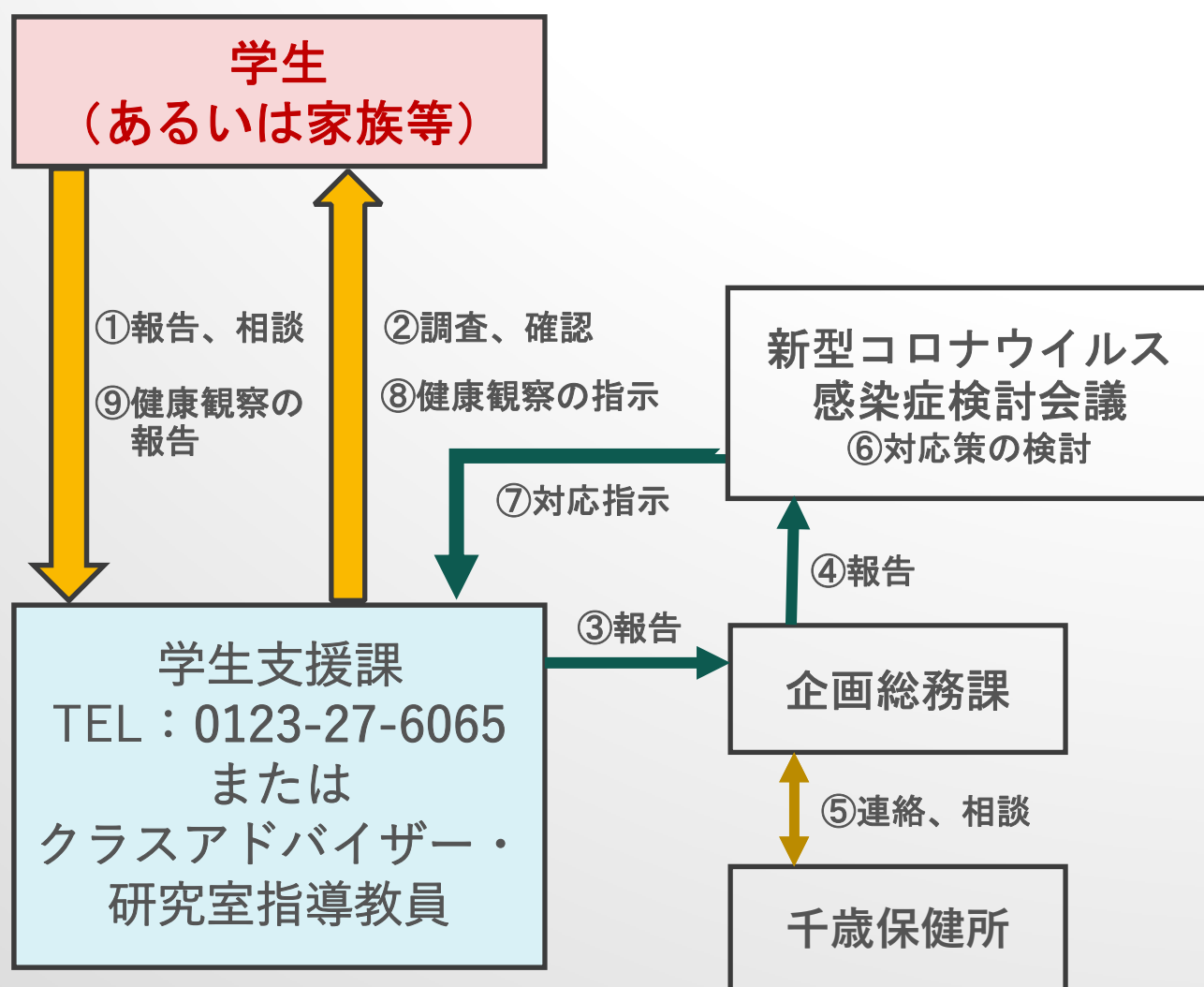
1. 講義・演習・実験室など、大学においては、**マスク**を適切に着用し、手指衛生を保つように注意してください
2. マスクを外した状態で、対面で他者と会話をしないようにしてください
3. **ソーシャルディスタンス**は、約2m（最低1m）なので、その距離を常に保つように注意してください
 - ・大学の提供する通学バスなど、交通機関に乗車する時
 - ・講義・演習・実験に出席する時
 - ・自習室、図書室などを利用して、個人学習を行う時
 - ・昼食時などにおける食堂・レストランの利用を行う時
4. 対面での食事は、極力避けてください

ソーシャルディスタンス（約2m）

- 
- 交通機関に乗車
 - 講義・演習・実験に出席
 - 自習室、図書室などを利用
 - レストランなどの利用

発症時の対応と登校制限に関する連絡

1. 学生が新型コロナウイルスに感染した場合は、学生自身もしくは保証人から**本学事務局学生支援課**に連絡してください。
2. 本学事務局学生支援課は、連絡を受けた当該学生あるいは保証人との連絡手段を確保するとともに、企画総務課およびクラスアドバイザー・指導教員に連絡し、情報共有を行います。
3. 学生の登校制限、復学の時期、講義や実習の取扱いなどについて「新型コロナウイルス感染症検討会議」において具体的に決定し、その結果については学生支援課から当該学生（あるいは保証人）に指示します。



緊急連絡先

- 風邪の症状や発熱が数日以上続いている
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)
- 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

1. 北海道千歳保健所

・**0123-23-3175**

・平日：8時45分～17時30分

2. 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

・**011-204-5020**

・24時間(土日祝を含む)

3. 札幌市相談窓口、札幌市保健所

・新型コロナウイルス一般電話相談窓口

・**011-632-4567**

・受付時間 毎日9時00分～21時00分

4. 厚生労働省相談窓口(コールセンター)

・新型コロナウイルス厚生労働省電話相談窓口

・**0120-565653**

・受付時間 9時00分～21時00分

5. 外国人向けコールセンター

・日本政府観光局

・**050-3816-2787**

・受付時間 24時間

・対応言語 英語, 中国語, 韓国語, 日本語